

令和3年度 美術科

学年	学習状況の現状分析と課題	指導方法の課題・改善策・補充・発展指導
1学年	<p>①表現ではモチーフを見つめ、感じ取った形や色彩の特徴や美しさを心豊かに表現できる生徒が多い。一方で形や色彩の効果を考えながら表現することを苦手とする生徒もいる。</p> <p>②鑑賞では対話型鑑賞の授業で楽しく作品を鑑賞し、形や色彩の効果や全体のイメージで作品を捉えることを理解しようとし、作者の心情や表現の意図と工夫について考えようとする生徒がいる。 一方で作者の表現意図と工夫を読み取ることを苦手とする生徒もいる。</p>	<p>①表現では形や色彩などの効果について理解しているかどうかを作品から見取り、できていない生徒に対しては具体例を示す指導を行う。</p> <p>②鑑賞では作者の表現意図を理解しているかどうかをワークシートや発言から見取り、生徒自身の表現活動における主題と表現の意図と工夫について振り返らせ、表現で学んだことと関連させながら、見方や感じ方を広げられるよう指導する。</p>
2学年	<p>①伝達のデザインに興味関心をもち、伝える相手の気持ちを考え、形や色彩が感情にもたらす効果を考え、表現しようとする生徒がいる。 一方で、形や色彩の効果を考え、表現することを苦手とする生徒もいる。</p> <p>②鑑賞では主体的に鑑賞し、作者の心情や意図と創造的な工夫について考えようとする生徒がいる。 一方で見方が浅くなる生徒もいる。</p>	<p>①伝えたいテーマを基に形や色彩が感情にもたらす効果を考えることを苦手とする生徒には構想カードを用いて再度主題を確認させたり、伝える相手や気持ちと形や色彩との関連を考えさせたりする指導を行う。</p> <p>①1年次に学習した色彩の既習事項を再度、指導する。</p> <p>②鑑賞では、作家や生徒自身の作品の意図や創造的な工夫などから形や色彩などの造形的な特徴などの関係性を多様な視点で考えさせるよう指導する。</p>
3学年	<p>①表現では表したい季節から感じとったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や色彩を効果的に考え、構想を練ろうとしている生徒が多い。 一方で、主題を生み出すことを苦手とし、表現意図と形や色彩の効果を関連付けて表現することを苦手とする生徒もいる。</p> <p>②鑑賞では美意識を高め、独創的な視点で作品を鑑賞することができる生徒が増えてきた。 一方で作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えることを苦手とする生徒もいる。</p>	<p>①表現活動において主題を生み出せていない生徒には構想カードを使用すると共に、既習事項を確認し、形や色彩などの効果について考えさせる指導を行う。</p> <p>②季節を感ずることを苦手とする生徒には国語科の便覧を使用し、季語や日本の伝統行事などから主題を生み出すよう指導する。</p> <p>③鑑賞活動ではワークシートの記述や発言の内容から、鑑賞が深まっていない生徒には個別にワークシートの添削を行う。</p>